

平成 28 年 11 月 9 日

報道機関 各位

東北工業大学 入試広報課

本学の学生が、マンション一室のリノベーションを提案します。

## 学生の考える住まい方の提案

### ～リノベーションプロジェクト～

コンペ形式による発表会を開催します。

本学は、大学 COC 事業及び大学 COC+事業の採択校として、地元志向教育及び企業の課題解決型の実践教育事業を通して地域社会に求められる人材育成を推進しております。

この度、株式会社 深松組様のご協力のもと、所有物件をご提供いただき、学生のコンペ形式によるリノベーションの提案を行います。株式会社 深松組及び建築学科教員による審査の結果、最優秀チームの提案を取り入れた部屋への改修、実際に改修までの工程の見学を予定しております。

マンション周辺の地域性を探り、実在する物件を対象とした住まい方の提案を通してより実践的な教育を行います。つきましては、ぜひ貴社媒体での取材をお願いいたします。

◆日 時： 平成 28 年 11 月 30 日（水）

14:00～17:00

◆会 場： 東北工業大学一番町ロビー 2 階ホール Tel. (022)723-0538

仙台市青葉区一番町 1-3-1 TM ビル

◆プログラム 14:00 趣旨説明（本学教員）

14:00 学生によるプレゼンテーション（1 チーム 10 分 ※全 11 チーム）

（建築学科 3 年生チーム、大学院生&台湾留学生）

16:00 株式会社 深松組 講評

※本企画は、建築学科の授業内で実施しております。

#### ■お問合せ先■

東北工業大学 地域連携センター 猪野・齊藤

E-mail : rc-center@tohtech.ac.jp

Tel. 022-305-3801 / Fax. 022-305-3808









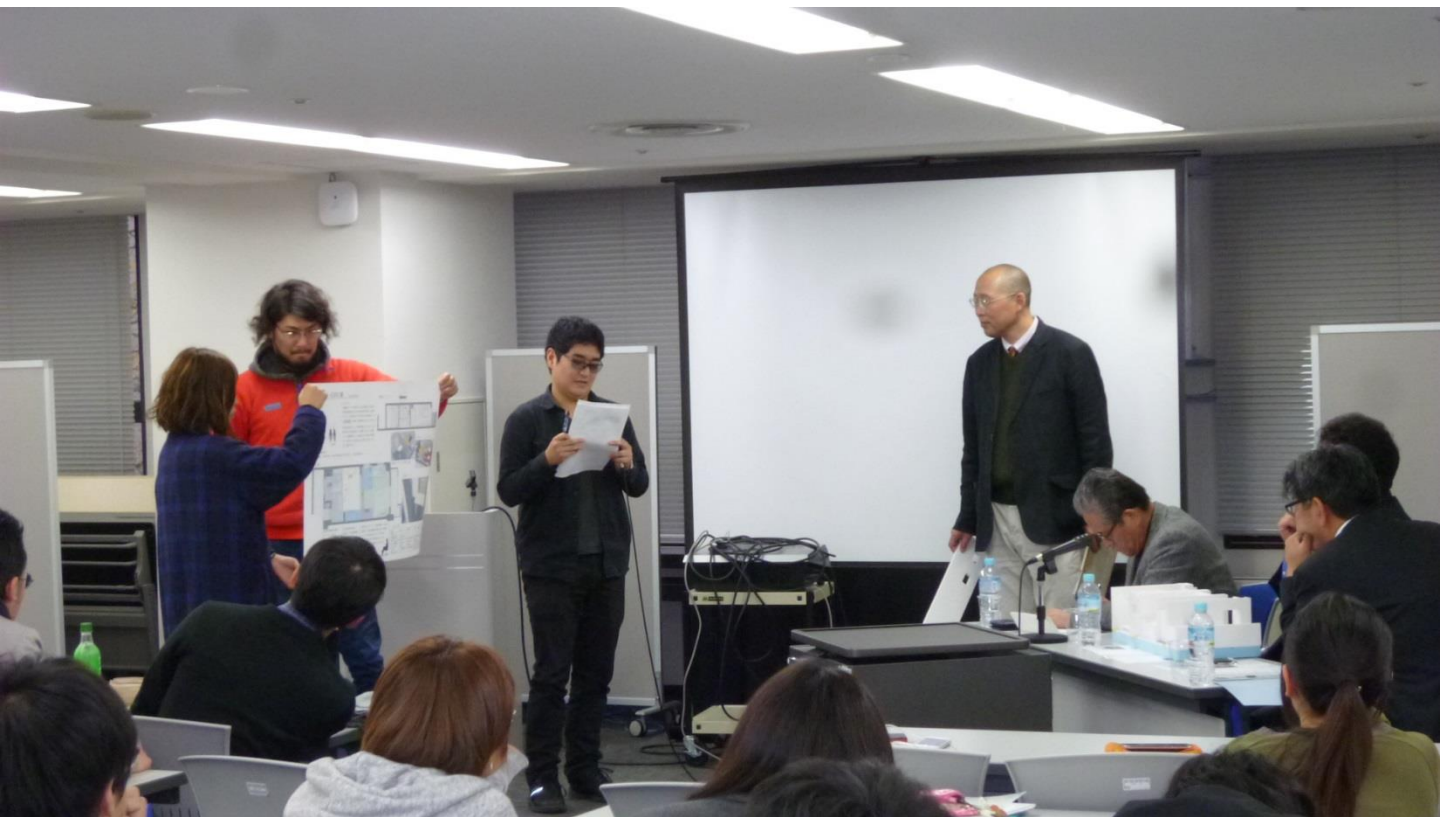




















深松組(深松努代表取締役社長)は、東北工業大学建築学科のリノベーションプロジェクトに、生きた教材として賃貸マンションを提供している。学生のデザインをもとに実際に改

修もする。現場は公開してものづくりの楽しさを伝え、建設業への就職意欲を後押しする。

「つけにしたい」と話す。大学のカリキュラムは、地域産業と人材育成を推進する国の地方

## 生きた教材に物件提供

創生推進事業(COC十事業)の一環で、建築学科の学生らが賃貸マンションをリノベ

### 深松組

深松社長は「学生が学んでいることを実際に経験できる場の提供と、

改修工事のプロセスを見せることで、ものづくりの楽しさを知ってほしい」と協力の理由を話した。大学の狩野信氏は「生きた教材を提供

業界に導くき

カリキュラムでは11月30日にコンペ形式で13作品が発表され、深松社長や県建築士事務所協会の栗原憲昭会長が審査し、プロの視点で質問やアドバイスをした。優秀作品1作品は深松組が実際に改修する。

深松社長は「改修工事では、フローリングの材質・特徴、工期など、家賃に合った物件のリノベーションを知ることが学んでほしい」と話した。

深松社長は「改修工事では、フローリングの材質・特徴、工期など、家賃に合った物件のリノベーションを知ることが学んでほしい」と話した。

学生のプレゼンを聞く深松社長(右)とその隣の栗原会長

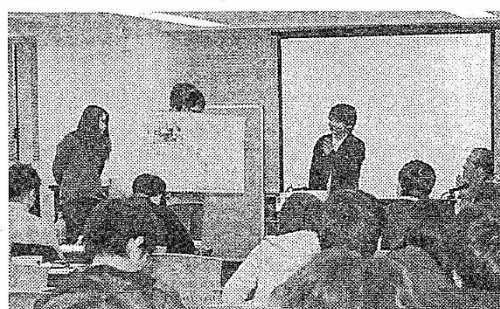


## 東北工大のリノベーションプロジェクトに協力

# 「住まい方の提案」をプレゼン 仙台の都市建築提案16

東北工業  
大学は11月  
30日、仙台  
市青葉区の  
東北工業大  
学一番町ロ  
ビー・ホー  
ルで仙台的  
の周辺市街  
地における  
建築プログ  
ラムと建築  
設計をテー  
マに、仙台  
の都市建築  
提案201  
6を開いた。  
課題ではプロジェクト  
スタディの具体的な空間  
の提案を最終プレゼンテ  
ーション。深松組（深  
松努社長）の協力のもと、

東北工業  
大学は11月  
30日、仙台  
市青葉区の  
東北工業大  
学一番町ロ  
ビー・ホー  
ルで仙台的  
の周辺市街  
地における  
建築プログ  
ラムと建築  
設計をテー  
マに、仙台  
の都市建築  
提案201  
6を開いた。



仙台市青葉区小田原の所  
有物件を対象に、学生の  
コンペ形式による「住ま  
い方のリノベーション提  
案」が行われた。  
プレゼンテーション  
は建築学科3年生の9案  
と工学研究科修士1年生  
の3案、台湾中原大学留  
学生1案の13案が4分の  
持ち時間で、模型とパネ  
ルを使って発表された。

講評で、深松社長は「今  
回のコンペは皆さんのア  
イディアを活かしたリノ  
ベーション提案が実現で  
きる体験を通じ、モノづ  
くりの大切さや技術者と  
しての価値観醸成につな  
がってほしい。当社所有  
の物件を提供し、改修過  
程も見学しながら知見を  
深めてほしい」と語り、学  
生たちの建設産業界での  
活躍に期待を寄せた。  
審査は、栗原憲昭宮城  
県建築士事務所協会長、  
深松社長と関係者、建築  
学科教員らの協議により  
決定。最優秀案は一週間  
程度をかけて賃貸条件な  
どとコスト比較を検証し  
たうえで選定し、現地の  
物件で採用され、実際に  
部屋を改修して完成まで

の工程を見学できるよう  
にする予定だ。

なお、同大学では、仙  
台市地下鉄東西線開通の  
駅周辺および沿線まちづ  
くりの一環として「八木  
山ウィーク2016」を  
12月2日～7日まで開

催。一番町ロビーでせん  
だい創生プロジェクト活  
動事例パネル発表と八木  
山各施設で八木山を元氣  
にしている活動の紹介報  
告のほか、6日には泊尚  
志講師と菊池輝教授によ  
る講演が行われる。